

【広報資料】

平成18年における外国人の上陸拒否について

平成18年における外国人の上陸拒否について

平成19年3月
法務省入国管理局

平成18年に我が国への上陸を拒否された外国人の数は、11,410人であり、同17年の10,722人から増加した。

当局では、平成20年までの5年間で不法滞在者を半減するとの目標達成のため、新たな不法滞在者の発生に歯止めをかけるべく、問題のある外国人の水際での阻止に積極的に引き続き努めている。

1 上陸拒否の状況

- (1) 平成18年における外国人の上陸拒否数は11,410人で、前年に比べ688人(6.4パーセント)増加した。
- (2) 過去5年間の上陸拒否数の推移について見ると、毎年、増減を繰り返す傾向にあったが、平成18年における外国人の上陸拒否数は増加し、過去5年間で最も多い11,410人となった。

2 上陸拒否者の国籍(出身地)別内訳(別表1)

- (1) 平成18年の上陸拒否者の国籍(出身地)別内訳は別表1のとおりであって、第1位の韓国人が全体の36.1パーセントを占めており、また、これに第2位の中国人及び第3位の中国(台湾)人を合わせると、全体の53.4パーセントを占め、さらに、上位10か国では、全体の77.9パーセントを占めている。
- (2) 第1位の韓国人の上陸拒否者は、平成16年以降増加傾向にあり、同18年は、同17年に引き続いて増加し、前年に比べ748人(22.2パーセント)増となった。
- (3) 第2位の中国人の上陸拒否者は、平成13年から同15年までは増加していたが、同16年以降は増減を繰り返す傾向があり、同18年は、前年と比べて55人(5.1パーセント)の減となった。
- (4) 第3位の中国(台湾)人の上陸拒否者は、前年に比べ338人(56.0パーセント)増となった。

(5) 第 4 位から第 1 0 位までの国籍 (地域) では , スリランカ人 , インドネシア人及びベトナム人が前年と比べて減少したことを除き , その他の国籍 (地域) はいずれも増加傾向にあり , 特にロシア人は , 前年に比べ 1 0 7 人 (6 2 . 2 パーセント) 増と , 大幅に増加している。

3 上陸拒否の理由別内訳 (別表 2)

(1) 不法就労等の違法な活動が目的であるにもかかわらず , 観光 , 短期商用又は親族・知人訪問と偽って上陸申請を行うなど入国後の活動に疑義が認められた事案は 7 , 8 3 2 人と前年に比べ 7 0 6 人増となり , 全体の 6 8 . 6 パーセントを占めた。

(2) 有効な査証等を所持していないことを理由とした上陸拒否数は 4 0 4 人で , 前年に比べ 1 4 7 人増となった。

(3) 上陸拒否事由該当事案は 1 , 1 8 9 人であり , 前年に比べ 2 1 1 人増となった。

(4) 偽変造旅券を行使するなどして上陸許可を受けようとし , 不法入国容疑により退去強制手続を執るべく入国警備官に通報した事案は 6 1 5 人で , 前年に比べ 1 3 4 人減となった。

4 港別内訳 (別表 3)

上陸拒否数を港別に見ると , 第 1 位は , 成田空港で 6 , 8 5 3 人と全体の 6 0 . 1 パーセントを占めている。第 2 位は , 関西空港で 1 , 6 6 4 人 , 次いで中部空港 , 羽田空港 , 新潟空港が続いている。

別表1 国籍(出身地)別上陸拒否数の推移(人)

国籍・出身地別	年別	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	対前年比	構成比
総数		10,400	9,133	9,806	10,955	10,722	11,410	6.4%	100.0%
韓国		2,525	2,459	2,290	3,309	3,373	4,121	22.2%	36.1%
中国		748	1,000	1,304	956	1,088	1,033	-5.1%	9.1%
中国(台湾)		563	719	759	731	604	942	56.0%	8.3%
フィリピン		519	324	402	723	878	930	5.9%	8.2%
スリランカ		178	113	220	363	615	447	-27.3%	3.9%
トルコ		506	290	406	448	303	361	19.1%	3.2%
インドネシア		744	435	572	330	465	327	-29.7%	2.9%
ロシア		33	69	326	254	172	279	62.2%	2.4%
中国(香港)		45	129	199	299	217	238	9.7%	2.1%
ベトナム		56	41	18	116	216	208	-3.7%	1.8%
その他		4,483	3,554	3,310	3,426	2,791	2,524	-9.6%	22.1%

別表2 理由別上陸拒否数

	構成比
総数	11,410 100.0%
入国目的に疑義のある事案	7,832 68.6%
有効な査証等を所持していない事案	404 3.5%
上陸拒否事由該当事案	1,189 10.4%
不法入国容疑で退去強制手続を執るため通報した事案	615 5.4%
その他の事案	1,370 12.0%

別表3 港別上陸拒否数の推移(上位5港)

平成16年		平成17年		平成18年		構成比
総数	10,955	総数	10,722	総数	11,410	100.0%
成田空港	7,145	成田空港	6,461	成田空港	6,853	60.1%
関西空港	1,661	関西空港	1,813	関西空港	1,664	14.6%
名古屋空港	969	中部空港	1,061	中部空港	1,445	12.7%
福岡空港	275	羽田空港	284	羽田空港	426	3.7%
博多港	172	福岡空港	194	新潟空港	187	1.6%
その他	733	その他	909	その他	835	7.3%